

# HP OpenView AssetCenter

ソフトウェアバージョン : 5.0

---

ソフトウェア配布ツールとの統合

ビルド番号 : 50



## 法的制限事項

### 保証

HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品またはサービスに付帯する明示的保証条項でのみ規定されます。

本規定のいかなる部分も、他の保証を構成すると解釈されるものではありません。

HPは本書の技術上または編集上の誤謬、欠落についての責任を負わないものとします。

本書に含まれる内容は、予告なく変更される場合があります。

### 限定保証条項

機密コンピュータソフトウェア。

所有、使用、コピーには、HPによる有効なライセンスが必要です。

FAR12.211および12.212準拠。商用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアマニュアル、技術データは、ベンダの標準商用ライセンスに基づき、米国政府にライセンス供与されています。

### 著作権

(c) Copyright 1994-2006 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

### 商標

- Adobe®, Adobe Photoshop® and Acrobat® are trademarks of Adobe Systems Incorporated.
- Corel® and Corel logo® are trademarks or registered trademarks of Corel Corporation or Corel Corporation Limited.
- Java™ is a US trademark of Sun Microsystems, Inc.
- Linux is a U.S. registered trademark of Linus Torvalds
- Microsoft®, Windows®, Windows NT® and Windows® XP are U.S. registered trademarks of Microsoft Corporation.
- Oracle® is a registered US trademark of Oracle Corporation, Redwood City, California.
- UNIX® is a registered trademark of The Open Group.

# 目次

はじめに . . . . .	11
AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合の内容 . . . . .	11
AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合の対象者 . . . . .	11
AssetCenterと統合可能なソフトウェア配布ツール . . . . .	12
本書の内容 . . . . .	12
本書の利用方法 . . . . .	13
本書で使用される表記法 . . . . .	14
<b>I. LANDesk Management Suiteとの統合 . . . . .</b>	<b>15</b>
<b>1. 概要 . . . . .</b>	<b>17</b>
ソフトウェア配布プロセスの内容 . . . . .	17
ソフトウェア配布で使用されるメインテーブル . . . . .	23
<b>2. 必要なコンポーネントの実装 . . . . .</b>	<b>25</b>
AssetCenter . . . . .	25
LANDesk Management Suite . . . . .	27
Enterprise Discovery . . . . .	27
Connect-It . . . . .	27
AssetCenter Server . . . . .	28
<b>3. 参照情報の作成と更新 . . . . .</b>	<b>29</b>

ターゲットコンピュータ . . . . .	29
配布パッケージおよびスクリプト . . . . .	30
配信方法 . . . . .	31
<b>4. ソフトウェアパッケージまたはスクリプトの配布 . . . . .</b>	<b>33</b>
AssetCenterでのスケジュールされたタスクの作成 . . . . .	33
新しいスケジュールされたタスクのLANDesk Management Suiteへの転送 . . . . .	34
スケジュールされたタスクのLANDesk Management Suiteへの転送のチェック . . . . .	35
LANDesk Management Suiteによるスケジュールされたタスクの実行のチェック . . . . .	36
<b>II. その他のソフトウェア配布ツールとの統合 . . . . .</b>	<b>39</b>
<b>5. LANDesk Management Suite統合の別のソフトウェア配布ツールへの適用 . . . . .</b>	<b>41</b>
プロセスの適用 . . . . .	41
Connect-Itシナリオの適用 . . . . .	41
AssetCenterサーバモジュールの適用 . . . . .	42
<b>III. 付録 . . . . .</b>	<b>43</b>
<b>A. 用語集 . . . . .</b>	<b>45</b>
配信方法 . . . . .	45
配布パッケージ . . . . .	45
スクリプト . . . . .	46
スケジュールされたタスク . . . . .	46
<b>B. 参照 . . . . .</b>	<b>47</b>
メニューとタブページ . . . . .	47
ツールバーアイコン . . . . .	49
インタフェースオプション . . . . .	49
テーブル . . . . .	50
テーブル間の依存関係 . . . . .	50
リストデータ . . . . .	51
特殊フィールド . . . . .	52
カウンタ . . . . .	52

アクションおよびウィザード . . . . .	52
AssetCenter Serverモジュール . . . . .	53
システムデータと専門分野データ . . . . .	54
レポートと書式 . . . . .	54
API . . . . .	55
ビュー . . . . .	55
その他のドキュメント . . . . .	55
ワークフローチャート . . . . .	57

<b>インデックス . . . . .</b>	<b>59</b>
-------------------------	-----------



# 図の一覧表

1.1. コンピュータのスキャンにEnterprise Discoveryを使用する場合のソフトウェア配布プロセス . . . . .	20
1.2. コンピュータのスキャンにLANDesk Management Suiteを使用する場合のソフトウェア配布プロセス . . . . .	23
1.3. ソフトウェア配布で使用されるテーブル . . . . .	24





# 表の一覧表

2.1. ソフトウェア配布モジュール - 必要なユーザのライセンス . . . . .	26
B.1. メニューとタブページ - リスト . . . . .	47
B.2. テーブル - リスト . . . . .	50
B.3. テーブルの依存関係 - テーブル . . . . .	51
B.4. リストデータ - リスト . . . . .	51
B.5. アクションおよびウィザード - リスト . . . . .	52
B.6. その他のドキュメント - リスト . . . . .	55



# はじめに

---

## AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合の内容

このタイプの統合の内容は以下のとおりです。

- 1 AssetCenterを使用して、スケジュールされたタスクを作成します。



スケジュールされたタスクは、ターゲットコンピュータセットへのソフトウェアパッケージの配布やターゲットコンピュータセットでのスクリプトの実行に使用されます。

- 2 配布ツールを使用して、AssetCenterで定義したスケジュールされたタスクを実行します。

---

## AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合の対象者

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合は、ソフトウェアの配布を担当するITチームのメンバを対象としています。

---

## AssetCenterと統合可能なソフトウェア配布ツール

以下のツールが使用できます。

- HPが直接統合しているツール  
現在、標準リリースにはLANDesk Management Suiteが統合されています。  
標準リリースの今後のバージョンでは、AssetCenterと統合できるソフトウェア配布ツールがさらに追加されます。
- ユーザが自分で統合できるツール  
その他のツールでも、標準プロセスとそのコンポーネントを適用すればAssetCenterと統合できます。

---

## 本書の内容

### LANDesk Management Suiteとの統合のセクション

#### 概要の章

本章では、AssetCenterとLANDesk Management Suiteの統合の概要について説明します。配布プロセスの説明と、ソフトウェアの配布で使用するメインテーブルの一覧を示します。

#### 必要なコンポーネントの実装の章

本章では、AssetCenterとLANDesk Management Suite: AssetCenter、LANDesk Management Suite、Enterprise Discovery、Connect-It、AssetCenter Serverの統合に必要なコンポーネントの実装方法について説明します。

#### 参照情報の作成と更新の章

本章では、参照情報（ターゲットコンピュータ、配布パッケージおよびスクリプト、配信方法）の作成方法と更新方法について説明します。

#### ソフトウェアパッケージまたはスクリプトの配布の章

本章では、ソフトウェアパッケージまたはスクリプトの配布方法（スケジュールされたタスクの作成、転送、実行）について説明します。

## その他のソフトウェア配布ツールとの統合のセクション

### LANDesk Management Suite統合の別のソフトウェア配布ツールへの適用の章

本章では、AssetCenterとLANDesk Management Suiteの統合に使用する標準プロセスの変更方法と、その結果としてのConnect-Itシナリオの適用方法について説明します。

## 付録のセクション

### 付録用語集

用語集に、AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合で使用する主な用語の定義を示します。

---

## 本書の利用方法

それぞれの役割に応じてさまざまな利用のしかたがあります。ここではLANDesk Management Suiteに対する例を示します。

### LANDesk Management Suite統合の担当者

- 1 概要 [ 献 17]の章
- 2 必要なコンポーネントの実装 [ 献 25]の章

### 参照情報の更新の担当者

- 1 概要 [ 献 17]の章
- 2 参照情報の作成と更新 [ 献 29]の章

### スケジュールされたタスクの作成の担当者

- 1 概要 [ 献 17]の章
- 2 ソフトウェアパッケージまたはスクリプトの配布 [ 献 33]の章

### LANDesk Management Suite統合のカスタマイズの担当者

- 1 概要 [ 献 17]の章
- 2 必要なコンポーネントの実装 [ 献 25]の章

- 3 参照情報の作成と更新 [ 献 29]の章
- 4 付録用語集 [ 献 45]
- 5 ソフトウェアパッケージまたはスクリプトの配布 [ 献 33]の章

---

## 本書で使用される表記法

本書で使用される表記法は以下のとおりです。

表記法	説明
Java Scriptコード	コードやコマンドの例
Courier体のテキスト	DOSコマンド、関数のパラメータ、データフォーマット
...	コードまたはコマンドの省略
<b>注意:</b>	重要項目
補足情報	
<b>重要項目:</b>	重要な情報
以下の注意事項は...	
<b>ヒント:</b>	使用上のヒント
ヒント	
<b>警告:</b>	非常に重要な情報
警告	
[ オブジェクト ]	AssetCenterのインタフェースのオブジェクト : メニュー、タブ、ボタン

次の規則も適用されます。

- 指定した順番で実行するステップは、次の例のように番号を付けて表示されます。
  - 1 手順1
  - 2 手順2
  - 3 手順3
- すべての図とテーブルには、それぞれが属する章と、その章に記載されている順番に応じた番号が付いています。例えば、第2章の4番目のテーブルのタイトルは、表2-4というように表されます。

---

# I LANDesk Management Suiteとの統合





# 1 概要

---

## ソフトウェア配布プロセスの内容

コンピュータのスキャンには以下のツールを使用することができます。

- Enterprise Discovery
- LANDesk

ソフトウェアの配布プロセスは、コンピュータのスキャンに使用するツールによって多少異なります。

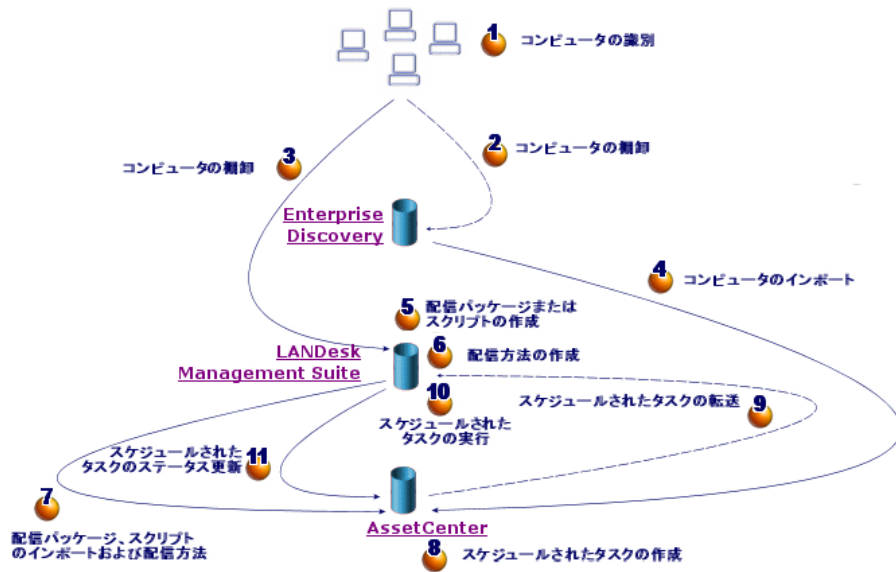
## コンピュータのスキャンにEnterprise Discoveryを使用する場合のプロセス

ソフトウェア配布プロセスは以下のステップから構成されます。

ステップ	使用するコンポーネント	コンポーネントの使用頻度
<p>1</p> <p>可能なターゲットコンピュータを識別する</p>	<p>各コンピュータにインストールされたLANDesk Management Suiteエージェント：このエージェントは各コンピュータに固有の識別子を割り当てます。</p> <p>この識別子は、LANDesk Management Suite、AssetCenter、Enterprise Discoveryのデータベースでのコンピュータの識別に同様に使用されません。</p> <p><b>注意:</b></p> <p>AssetCenterでは、コンピュータの識別子を格納するフィールドは [ソフトウェア配布識別子] (SWDID) フィールドです。</p>	<p>新しいコンピュータごとに1回</p>
<p>2</p> <p>LANDesk Management Suiteデータベースでコンピュータを宣言する</p>	<p>LANDesk Management Suite：このアプリケーションが、LANDesk Management Suiteエージェントが導入されているコンピュータをスキャンします。</p> <p>コンピュータでスケジュールされたタスクを実行するには、LANDesk Management Suiteでコンピュータをスキャンする必要があります。</p>	<p>新しいコンピュータごとに1回、自動的に</p>
<p>3</p> <p>Enterprise Discoveryによるコンピュータのスキャン</p>	<p>Enterprise Discovery：このアプリケーションがコンピュータをスキャンします。</p> <p>スキャンされたコンピュータは、AssetCenterにインポートして、スケジュールされたタスクの作成時に選択することができます。</p>	<p>コンピュータの最新リストを維持するため定期的かつ可能な限り自動的に</p>
<p>4</p> <p>AssetCenterデータベースでコンピュータをインポートする</p>	<p>Connect-It：「edac.scn」シナリオ</p> <p>このインポートを使用して新しいコンピュータを追加し、それらを更新します。Enterprise Discoveryデータベースに存在しなくなったコンピュータをEnterprise Discoveryデータベースから削除することはできません。</p>	<p>コンピュータの最新リストを維持するため定期的かつ自動的に</p>
<p>5</p> <p>配布パッケージおよびスクリプトを作成する</p>	<p>LANDesk Management Suite</p>	<p>新しい配布パッケージまたはスクリプトごとに1回</p>
<p>6</p> <p>配信方法を作成する</p>	<p>LANDesk Management Suite</p>	<p>新しい配信方法ごとに1回</p>

ステップ	使用するコンポーネント	コンポーネントの使用頻度
<p>7</p> <p>配布パッケージとスクリプト、および配信方法をAssetCenterデータベースにインポートする</p>	<p>Connect-It : 「LDUpdateRepository.scn」シナリオ</p> <p>このインポートを使用して新しい配布パッケージとスクリプトを追加し、それらを更新します。ただし、LANDesk Management Suiteデータベースに存在しなくなった配布パッケージをAssetCenterデータベースから削除することはできません。</p>	<p>配布パッケージとシナリオ、および配信方法の最新リストを維持するため定期的かつ自動的に</p>
<p>8</p> <p>スケジュールされたタスクを作成する</p>	<p>AssetCenter : スケジュールされたタスクが以下のステップによってAssetCenterで作成されま</p> <p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ パッケージ/スクリプトをコンピュータに配布... ( sysESDGeneric )</li> <li>■ パッケージ/スクリプトを場所に配布... ( sysESDLocation )</li> <li>■ パッケージ/スクリプトをユーザに配布... ( sysESDServices )</li> </ul>	<p>配布タスクをプランニングする必要があるときに1回</p>
<p>9</p> <p>新しいスケジュールされたタスクをLANDesk Management Suiteに伝送する</p>	<p>Connect-It : 「DStarTasks.scn」シナリオ</p> <p>このインポートを使用して新しいスケジュールされたタスクを追加します。タスクの更新や削除には使用されません。</p>	<p>定期的かつ自動的に</p>
<p>10</p> <p>スケジュールされたタスクを実行する</p>	<p>LANDesk Management Suite</p>	<p>LANDesk Management Suiteで定義されたオプション通り</p>
<p>11</p> <p>AssetCenterのスケジュールされたタスクのステータスを更新する</p>	<p>Connect-It : Connect-It 「LDUpdateTask.scn」シナリオ</p> <p>このインポートを使用して既存のスケジュールされたタスクを更新します。タスクの作成や削除には使用されません。</p>	<p>定期的かつ自動的に</p>

図 1.1. コンピュータのスキャンにEnterprise Discoveryを使用する場合のソフトウェア配布プロセス



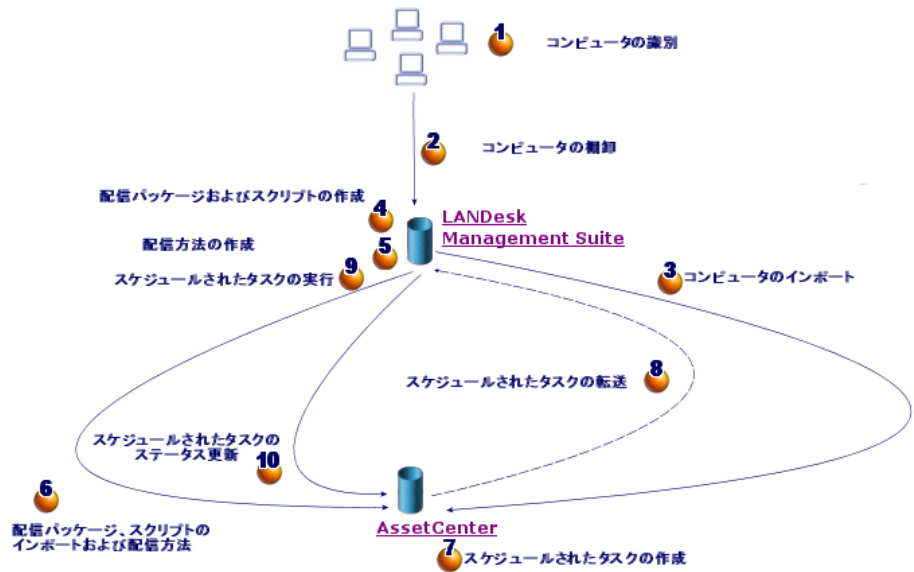
## コンピュータのスキャンにLANDesk Management Suiteを使用する場合のプロセス

ソフトウェア配布プロセスは以下のステップから構成されます。

ステップ	使用するコンポーネント	コンポーネントの使用頻度
<p><b>1</b></p> <p>可能なターゲットコンピュータを識別する</p>	<p>各コンピュータにインストールされたLANDesk Management Suiteエージェント：このエージェントは各コンピュータに固有の識別子を割り当てます。</p> <p>この識別子は、LANDesk Management SuiteとAssetCenterのデータベースでのコンピュータの識別に同様に使用されます。</p> <p><b>注意:</b></p> <p>AssetCenterでは、コンピュータの識別子を格納するフィールドは [ソフトウェア配布識別子] (SWDID) フィールドです。</p>	<p>新しいコンピュータごとに1回</p>
<p><b>2</b></p> <p>LANDesk Management Suiteデータベースでコンピュータを宣言する</p>	<p>LANDesk Management Suite：このアプリケーションが、LANDesk Management Suiteエージェントが導入されているコンピュータをスキャンします。</p> <p>コンピュータでスケジュールされたタスクを実行するには、LANDesk Management Suiteでコンピュータをスキャンする必要があります。</p>	<p>新しいコンピュータごとに1回、自動的に</p>
<p><b>3</b></p> <p>AssetCenterデータベースでコンピュータをインポートする</p>	<p>Connect-ItシナリオConnect-It 「ldskac.scn」</p> <p>このインポートを使用して新しいコンピュータを追加し、それらを更新します。LANDesk Management Suiteデータベースに存在しなくなったコンピュータをAssetCenterデータベースから削除することはできません。</p>	<p>コンピュータの最新リストを維持するため定期的かつ自動的に</p>
<p><b>4</b></p> <p>配布パッケージおよびスクリプトを作成する</p>	<p>LANDesk Management Suite</p>	<p>新しい配布パッケージまたはスクリプトごとに1回</p>
<p><b>5</b></p> <p>配信方法を作成する</p>	<p>LANDesk Management Suite</p>	<p>新しい配信方法ごとに1回</p> <p>配布パッケージとスクリプト、および配信方法の最新リストを維持するため定期的かつ自動的に</p>

ステップ	使用するコンポーネント	コンポーネントの使用 頻度
<p data-bbox="297 196 318 230">6</p> <p data-bbox="187 279 429 421">配信パッケージとスクリプト、および配信方法をAssetCenterデータベースにインポートする</p>	<p data-bbox="448 196 776 248">Connect-It : Connect-Itシナリオ 「LDUpdateRepository.scn」</p> <p data-bbox="448 262 951 404">このインポートを使用して新しい配布パッケージとスクリプトを追加し、それらを更新します。LANDesk Management Suiteデータベースに存在しなくなった配布パッケージをAssetCenterデータベースから削除することはできません。</p>	
<p data-bbox="297 430 318 465">7</p> <p data-bbox="187 513 429 569">スケジュールされたタスクを作成する</p>	<p data-bbox="448 430 951 508">AssetCenter : スケジュールされたタスクが以下のアクションによってAssetCenterで作成されます。</p> <ul data-bbox="448 517 951 699" style="list-style-type: none"> <li>■ パッケージ/スクリプトをコンピュータに配布... ( sysESDGeneric )</li> <li>■ パッケージ/スクリプトを場所に配布... ( sysESDLocation )</li> <li>■ パッケージ/スクリプトをユーザに配布... ( sysESDServices )</li> </ul>	1回、配布タスクをプランニングする必要があるとき
<p data-bbox="297 708 318 743">8</p> <p data-bbox="187 791 429 907">新しいスケジュールされたタスクをLANDesk Management Suiteに伝送する</p>	<p data-bbox="448 708 776 760">Connect-It : Connect-Itシナリオ 「LDStarTasks.scn」</p> <p data-bbox="448 774 951 855">このインポートを使用して新しいスケジュールされたタスクを追加します。タスクの更新や削除には使用されません。</p>	定期的かつ自動的に
<p data-bbox="297 916 318 951">9</p> <p data-bbox="187 999 429 1055">スケジュールされたタスクを実行する</p>	<p data-bbox="448 916 733 942">LANDesk Management Suite</p>	LANDesk Management Suiteで定義されたオプション通り
<p data-bbox="297 1064 318 1098">10</p> <p data-bbox="187 1147 429 1255">AssetCenterでスケジュールされたタスクのステータスを更新する</p>	<p data-bbox="448 1064 776 1116">Connect-It : Connect-Itシナリオ 「LDUpdateTask.scn」</p> <p data-bbox="448 1130 951 1203">このインポートを使用して既存のスケジュールされたタスクを更新します。タスクの作成や削除には使用されません。</p>	定期的かつ自動的に

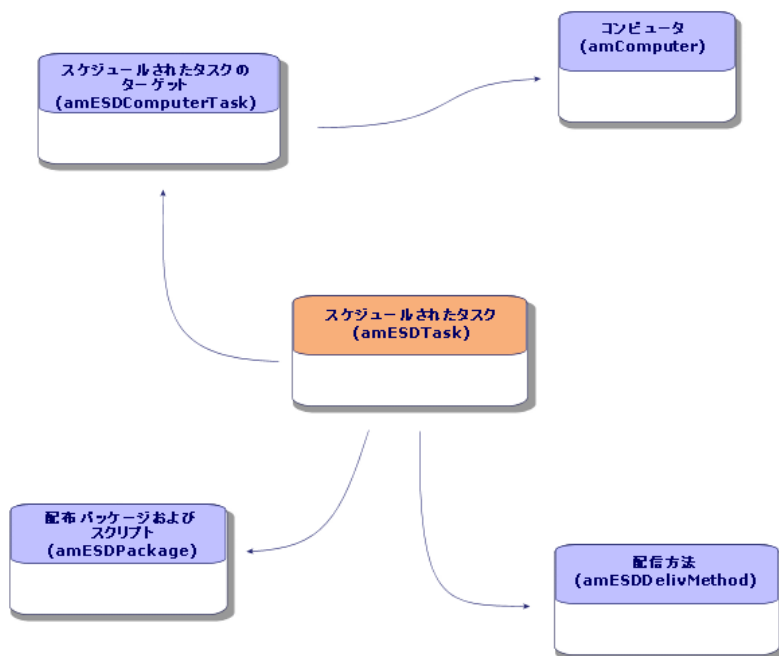
図 1.2. コンピュータのスキャンにLANDesk Management Suiteを使用する場合のソフトウェア配布プロセス



## ソフトウェア配布で使用されるメインテーブル

ソフトウェア配布で使用されるテーブルの数は限定されています。

図 1.3. ソフトウェア配布で使用されるテーブル





## 2 必要なコンポーネントの実装

### AssetCenter

#### AssetCenterをインストールする

AssetCenterスイートから以下のアプリケーションをインストールする必要があります。

アプリケーション	コンピュータ	目的
AssetCenter Database Administrator	1台の管理者ワークステーション	本番データベースの作成
AssetCenter Server	1台のモニタサーバ	AssetCenterとLANDesk Management Suite間のデータ変換や、Enterprise Discovery棚卸データのインポート（コンピュータのスキャンにEnterprise Discoveryを使用する場合）のためのConnect-Itシナリオの自動実行
WindowsまたはWebクライアント	1台以上のユーザワークステーション	スケジュールされたタスクの作成とそのステータスのモニタ

これらのコンポーネントのインストール方法については、▶ AssetCenterのマニュアル『インストールとアップグレード』を参照してください。

## AssetCenter本番データベースを作成する

AssetCenter本番データベースを作成する必要があります。

これらのコンポーネントのインストール方法については、▶ AssetCenterのマニュアル『管理』の「AssetCenterデータベースの作成、変更、削除」の章を参照してください。

## 必要なライセンスを有効にする

AssetCenterユーザライセンスで以下のモジュールへのアクセスが許可されている必要があります。

表 2.1. ソフトウェア配布モジュール-必要なユーザのライセンス

ライセンスで購入する必要があるモジュール	目的
ソフトウェア配布	ソフトウェア配布
ポートフォリオ	コンピュータの作成

ユーザのライセンスを有効にする方法については、▶ AssetCenterのマニュアル『管理』の「AssetCenterデータベースの作成、変更、削除」の章、「ライセンスファイルを取得する」および「ライセンスを変更する」の節を参照してください。

## Windowsクライアントでデータベースにアクセスする際に必要なモジュールを有効にする

以下のモジュールを有効にする必要があります（[ファイル/モジュールの起動]メニュー）。

- ソフトウェア配布
- ポートフォリオ
- 管理

### 注意:

Webクライアントの場合、これらのモジュールはデフォルトで有効になっています。

---

## LANDesk Management Suite

### LANDesk Management Suiteをインストールする

- ▶ LANDesk Management Suiteのマニュアル『Installation and deployment』

---

## Enterprise Discovery

### Enterprise Discoveryをインストールする



コンピュータのスキャンにEnterprise Discoveryを使用している場合、このインストールは不要です。

LANDesk Management Suite棚卸モジュールを使用することもできます。

- 
- ▶ Enterprise Discoveryのマニュアル『Installation and Initial Setup』

---

## Connect-It

### Connect-Itをインストールする

- ▶ Connect-Itのマニュアル『Users guide』の「Installing」の章

### Connect-Itシナリオを設定する

以下のConnect-Itシナリオを設定する必要があります。

- 「edac.scn」（コンピュータのスキャンにEnterprise Discoveryを使用する場合）  
または：  
「ldskac.scn」（コンピュータのスキャンにLANDesk Management Suiteを使用する場合）
- LDStarTasks.scn
- LDUpdateTask.scn
- LDUpdateRepository.scn

Connect-Itシナリオの設定方法については、▶AssetCenterのマニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節を参照してください。

---

## AssetCenter Server

### 必要なAssetCenter Serverモジュールを設定し、有効にする

設定するAssetCenter Serverモジュールのリストを見つけるには、▶本書のAssetCenter Serverモジュール[献 53]の章を参照してください。

AssetCenter Serverモジュールの設定方法については、▶マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章、「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節を参照してください。

## 3 参照情報の作成と更新

スケジュールされたタスクを作成して実行するには、以下の参照情報を入力する必要があります。

- ターゲットコンピュータ
- 配布パッケージおよびスクリプト
- 配信方法

本章では、参照情報の入力方法について説明します。

---

### ターゲットコンピュータ

#### ターゲットコンピュータの参照が必要な理由および場所

ターゲットコンピュータへのソフトウェア配布が正しく機能するためには、コンピュータが以下で同様に識別される必要があります。

- AssetCenterデータベース。コンピュータがAssetCenterで作成したスケジュールされたタスクによって参照されるようにするため
- LANDesk Management Suiteデータベース。コンピュータが、LANDesk Management Suiteにエクスポートされたスケジュールされたタスクによって参照されるようにするため
- コンピュータ自体。スケジュールされたタスクがLANDesk Management Suiteによって実行されるときに、コンピュータが見つかるようにするため

## ターゲットコンピュータを参照するために必要な手順

ターゲットコンピュータを正しく参照するには、以下の順番で作業を進めます。

- 1 LANDesk Management Suiteエージェントを各ターゲットコンピュータに導入します。  
コンピュータに固有の識別子を作成します。  
識別子はコンピュータのハードドライブに格納されます。  
コンピュータは、LANDesk Management Suiteデータベースで自動的に参照されます。  
▶ LANDesk Management Suiteのマニュアル『Installation and deployment』の「Deploying main agents to peripherals」の章
- 2 Enterprise Discoveryによるコンピュータのスキャンを起動します。



注意:

これは、LANDesk Management SuiteのほかにEnterprise Discoveryを使用してコンピュータをスキャンする場合にのみ必要です。

▶ Enterprise Discoveryマニュアル

- 3 AssetCenter Serverが起動され、[ Enterprise Discovery棚卸結果を使用してデータベースを更新 ] モジュール (EdAc) がConnect-Itの「edac.scn」シナリオ (Enterprise Discoveryを使用してコンピュータのスキャンを行う場合) または「ldskac.scn」シナリオ (LANDesk Management Suiteを使用してコンピュータのスキャンを行う場合) をトリガしていることを確認します。  
これをチェックするには、Enterprise DiscoveryまたはLANDesk Management Suiteによってスキャンされた新しいコンピュータがAssetCenterデータベースにリストされていることを確認します。

## 配布パッケージおよびスクリプト

### 配布パッケージおよびスクリプトの参照が必要な理由と場所

スケジュールされたタスクを作成し、実行するには、タスクに配布パッケージまたはスクリプトを割り当てる必要があります。

配布パッケージおよびスクリプトは、全体がLANDesk Management Suiteで作成されます。

ただし、スケジュールされたタスクはAssetCenterで作成されるので、配布パッケージおよびスクリプトをAssetCenterデータベースから選択できるようにする必要があります。

配布パッケージおよびスクリプトに関する情報の一部をLANDesk Management SuiteデータベースからAssetCenterデータベースにエクスポートする必要もあります。

## 配布パッケージおよびスクリプトの参照方法

配布パッケージおよびスクリプトを正しく参照するには、以下の順番で作業を進めます。

- 1 LANDesk Management Suiteデータベースに配布パッケージおよびスクリプトを作成します。
  - ▶ LANDesk Management Suiteの『Users guide』
- 2 AssetCenter Serverが起動され、[ソフトウェアパッケージと配信方法データベースの更新]モジュール (SWDRepo) がConnect-Itの「LDUpdateRepository.scn」シナリオをトリガしていることを確認します。  
これをチェックするには、LANDesk Management Suiteで作成した新しい配布パッケージまたはスクリプトがAssetCenterデータベースにリストされていることを確認します。

---

## 配信方法

### 配信方法の参照が必要な理由と場所

スケジュールされたタスクを作成し、実行するには、タスクに配信方法を割り当てる必要があります。

配信方法は、全体がLANDesk Management Suiteで作成されます。

ただし、スケジュールされたタスクはAssetCenterで作成されるので、配信方法をAssetCenterデータベースから選択できるようにする必要があります。

配信方法に関する情報の一部をLANDesk Management Suite データベースからAssetCenterデータベースにエクスポートする必要もあります。

### 配信方法の参照方法

配信方法を正しく参照するには、以下の順番で作業を進めます。

- 1 LANDesk Management Suiteデータベースで配信方法を作成します。
  - ▶ LANDesk Management Suiteの『Users guide』
- 2 AssetCenter Serverが起動され、ソフトウェアパッケージと配信方法データベースの更新モジュール (SWDRepo) がConnect-Itの「LDUpdateRepository.scn」シナリオをトリガしていることを確認します。  
これをチェックするには、LANDesk Management Suiteで作成した新しい配信方法がAssetCenterデータベースにリストされていることを確認します。





## 4 ソフトウェアパッケージまたはスクリプトの配布

スケジュールされたタスクはAssetCenterで作成されます。

AssetCenterで作成されたタスクは、Connect-ItシナリオによってLANDesk Management Suiteに自動的に伝送されます。

LANDesk Management Suiteがスケジュールされたタスクを実行します。

転送結果と実行結果が、Connect-ItシナリオによってAssetCenterに自動的に送信されます。

---

### AssetCenterでのスケジュールされたタスクの作成

スケジュールされたタスクを作成する方法は複数あります。

以下にさまざまな作成方法を示します。

#### スケジュールされたタスクをウィザードなしで作成する

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。
- 2 作業データベースに接続します。
- 3 スケジュールされたタスクを表示します（ [ ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / スケジュールされたタスク ] ブラウザリンク ）。
- 4 新しいスケジュールされたタスクを作成します（ [ 新規作成 ] ボタン ）。
- 5 スケジュールされたタスクを入力し、保存します。

## 選択した場所にあるコンピュータのスケジュールされたタスクを作成する (ウィザードを使用)

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。
- 2 作業データベースに接続します。
- 3 [パッケージ/スクリプトを場所に配布...] ウィザード ( sysESDLocation ) を起動します ( [ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / パッケージ/スクリプトを場所に配布...] ブラウザリンク )。
- 4 ウィザードの各ページに情報を入力し、終了をクリックします。

## 所定ユーザのコンピュータのスケジュールされたタスクを作成する (ウィザードを使用)

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。
- 2 作業データベースに接続します。
- 3 [パッケージ/スクリプトをユーザに配布...] ウィザード ( sysESDServices ) を起動します ( [ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / パッケージ/スクリプトをユーザに配布...] ブラウザリンク )。
- 4 ウィザードの各ページに情報を入力し、終了をクリックします。

## コンピュータセットのスケジュールされたタスクを作成する (ウィザードを使用)

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。
- 2 作業データベースに接続します。
- 3 [パッケージ/スクリプトをコンピュータに配布...] ウィザード ( sysESDGeneric ) を起動します ( [ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / パッケージ/スクリプトをコンピュータに配布...] ブラウザリンク )。
- 4 ウィザードの各ページに情報を入力し、終了をクリックします。

---

## 新しいスケジュールされたタスクのLANDesk Management Suiteへの転送

タスクの詳細で、[転送ステータス] ( seRequest ) フィールドの値が「転送」の場合、Connect-Itシナリオ「LDStarTasks.scn」によってタスクがLANDesk Management Suiteにのみ伝送されます。

以下の2つの場合にフィールドがこの値になります。

- ウィザードを使ってスケジュールされたタスクを作成し、ウィザードを終了する前に [すぐに転送] オプションを選択した場合

- それ以外の場合で、スケジュールされたタスクの詳細を表示し、[ 転送 ] ボタンをクリックした場合

スケジュールされたタスクが、Connect-Itシナリオ「LDStarTasks.scn」によってLANDesk Management Suiteに転送されます。

このタスクを自動化するには、AssetCenter Serverが起動され、ソフトウェア配布のスケジュールされたタスクの作成モジュール (SWDCTask) がConnect-Itの「LDStarTasks.scn」シナリオをトリガしていることを確認します。

検証するには、AssetCenterで作成され、[ 転送ステータス ] (seRequest) フィールドが「転送」に設定されているスケジュールされたタスクが、LANDesk Management Suiteデータベースに存在することを確認します。

---

## スケジュールされたタスクのLANDesk Management Suiteへの転送のチェック

LANDesk Management Suiteに転送されるスケジュールされたタスクの転送ステータスは、AssetCenterデータベースの、スケジュールされたタスクの詳細の [ 転送ステータス ] (seRequest) フィールドに存在します。

LANDesk Management Suiteに転送されるスケジュールされたタスクの転送ステータスは、Connect-Itシナリオ「LDStarTasks.scn」によって更新されます。

### 転送ステータスを自動的に更新する

このタスクを自動化するには、AssetCenter Serverが起動され、ソフトウェア配布のスケジュールされたタスクの作成モジュール (SWDCTask) がConnect-Itの「LDStarTasks.scn」シナリオをトリガしていることを確認します。

検証するには、LANDesk Management Suiteに問題なく転送された、まだ実行されていないスケジュールされたタスクが、データベースに正しいステータスを保有することを確認します。

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。
- 2 作業データベースに接続します。
- 3 スケジュールされたタスクを表示します ( [ ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / スケジュールされたタスク ] ブラウザリンク )。
- 4 チェックするスケジュールされたタスクを選択します。
- 5 [ 転送ステータス ] (seRequest) フィールドを表示します。値は「転送済み」である必要があります。

### 転送ステータスをチェックする

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。

- 2 作業データベースに接続します。
- 3 スケジュールされたタスクを表示します（ [ ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / スケジュールされたタスク ] ブラウザリンク ）。
- 4 チェックするスケジュールされたタスクを選択します。
- 5 [ 転送ステータス ] （ seRequest ） フィールドを表示します。

---

## LANDesk Management Suiteによるスケジュールされたタスクの実行のチェック

LANDesk Management Suiteに転送されたスケジュールされたタスクの転送ステータスは、AssetCenterデータベースに存在します。

- スケジュールされたタスクの詳細の、 [ 転送ステータス ] （ seRequest ） フィールド
- スケジュールされたタスクの詳細の、 [ タスクステータス ] （ ESDStatus ） フィールド
- スケジュールされたタスクの詳細の、 [ ステータス ] （ Status ） フィールド

LANDesk Management Suiteによって実行されたスケジュールされたタスクの実行ステータスは、Connect-Itシナリオ「LDUpdateTasks.scn」によって更新されます。

### スケジュールされたタスクの実行ステータスを自動的に更新する

このタスクを自動化するには、AssetCenter Serverが起動され、ソフトウェア配布のスケジュールされたタスクの結果の更新モジュール（SWDUTask）がConnect-Itの「LDUpdateTasks.scn」シナリオをトリガしていることを確認します。

検証するには、LANDesk Management Suiteによって問題なく実行されたスケジュールされたタスクが、AssetCenterデータベースに正しいステータスを保有することを確認します。

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。
- 2 作業データベースに接続します。
- 3 スケジュールされたタスクを表示します（ [ ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / スケジュールされたタスク ] ブラウザリンク ）。
- 4 チェックするスケジュールされたタスクを選択します。
- 5 [ 転送ステータス ] （ seRequest ） フィールドを表示します。値は「実行済」である必要があります。

### スケジュールされたタスクの実行ステータスをチェックする

- 1 AssetCenter WindowsクライアントまたはWebクライアントを起動します。
- 2 作業データベースに接続します。

- 3 スケジュールされたタスクを表示します（ [ ポートフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / スケジュールされたタスク ] ブラウザリンク ）。
- 4 チェックするスケジュールされたタスクを選択します。
- 5 [ 転送ステータス ] （ seRequest ） フィールドを表示します。
- 6 [ タスクのステータス ] （ ESDStatus ） フィールドを表示します。
- 7 [ ターゲット ] タブを選択します。
- 8 スケジュールされたタスクの別のターゲットの [ ステータス ] （ Status ） フィールドを表示します。



---

## II その他のソフトウェア配布ツールとの統合





## 5 LANDesk Management Suite統合の別のソフトウェア配布ツールへの適用

---

### プロセスの適用

ソフトウェア配布プロセスの内容 [ 献 17 ] の節で説明したプロセスを調べます。以下のタスクを実行するためプロセスで使用するツールを決定します。

- コンピュータの識別とスキャン
- ソフトウェアの配布

これらの質問への答えに基づいて新しいプロセスを定義します。

---

### Connect-Itシナリオの適用

新しいプロセスで使用される異なるツール間の情報の転送 ( ▶ プロセスの適用 [ 献 41 ] ) は、Connect-Itによって処理されます。

Connect-Itは、Connect-It [ 献 27 ] の節で説明したシナリオを使用します。

新しいプロセスで使用するツールに適用するシナリオを作成するときには、既存のシナリオを参照してください。

これらのシナリオでは、Enterprise DiscoveryコネクタとLANDeskコネクタを、新しいプロセスに使用するツールに適用するコネクタと置き換えます。

これらのコネクタは、転送する情報に応じて、AssetCenterデータベースにある以下のテーブルをポイントする必要があります。

- コンピュータ ( amComputer ) : スキャンされたコンピュータを格納

- スケジュールされたタスク（amESDTask）：実行がソフトウェア配布ツールによって処理される、スケジュールされたタスクを格納
- 配布パッケージおよびスクリプト（amESDPackage）：コンピュータに配布するための配布パッケージおよびスクリプトを格納
- 配信方法（amESDDelivMethod）：パッケージまたはスクリプトを配布するためソフトウェア配布ツールによって配信方法が必要となる場合、配信方法を格納

これらのテーブルすべてに対して、選択した照合更新キーを使用することができません。

---

## AssetCenterサーバモジュールの適用

AssetCenter Serverは、AssetCenterとLANDesk Management Suite間のデータ変換やEnterprise Discovery棚卸データのインポート（コンピュータのスキャンにEnterprise Discoveryを使用する場合）のためConnect-Itシナリオを自動的に実行するよう設定されます。

ソフトウェア配布プロセスに使用されるConnect-Itシナリオを変更した場合、AssetCenter Serverのモジュールが正しく適用されているかチェックしてください。

---

## III 付録



# A 用語集

用語集に、AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合で使用する主な用語の定義を示します。

---

## 配信方法

配信方法は、ソフトウェア配布パッケージまたはスクリプトをターゲットコンピュータに送信する方法を定義します。

配信方法は、ソフトウェア配布ツールで定義され、Connect-Itスクリプトを使ってAssetCenterデータベースにインポートされます。

配信方法は、配布タイプ（Targeted Multicast、プッシュ、ストラテジーなど）で区別できます。

### これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

配信方法 ( amESDDelivMethod )

---

## 配布パッケージ

ソフトウェアのインストールに必要なパラメータとファイル

配布パッケージは、ソフトウェア配布ツールで定義され、Connect-Itシナリオを使ってAssetCenterデータベースにインポートされます。

## これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

配布パッケージおよびスクリプト ( amESDPackage )

---

### スクリプト

ターゲットコンピュータで実行されるスクリプト  
スクリプトは、ソフトウェア配布ツールで定義され、Connect-Itシナリオを使ってAssetCenterデータベースにインポートされます。

## これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

配布パッケージおよびスクリプト ( amESDPackage )

---

### スケジュールされたタスク

スケジュールされたタスクは1つの処理で、その間にソフトウェア配布パッケージまたはスクリプトが配信方法に従ってコンピュータセットに配布されます。  
タスクはAssetCenterによって直接実行されません。Connect-Itシナリオによってソフトウェア配布ツールに転送されます。

## これらのオブジェクトを記述するAssetCenterデータベースのテーブル

スケジュールされたタスク ( amESDTask )

## B 参照

---

### メニューとタブページ

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に使用されるデータには、以下のメニュー、タブページ、リスト、フィールドを使ってアクセスできます。

表 B.1. メニューとタブページ - リスト

サブメニュー	メニューからアクセス可能なテーブル (ラベルとSQL名)	ソフトウェア配布モジュール専用のタブページ	重要なフィールドまたはリンク (専用タブページ外)	使用	参照する節
[ファイル]メニュー					

サブメニュー	メニューからアクセス可能なテーブル（ラベルとSQL名）	ソフトウェア配布モジュール専用のタブページ	重要なフィールドまたはリンク（専用タブページ外）	使用	参照する節
モジュールの起動	該当なし	該当なし	該当なし	ライセンスファイルで許可される場合、ソフトウェア配布に必要なモジュールの有効化または非有効化が可能 アプリケーションで以下のメニューを表示できない場合に使用するメニューです。	Windowsクライアントでデータベースにアクセスする際に必要なモジュールを有効にする [ 献 26]
ポータルフォリオ管理 / IT / ソフトウェア配布 / ブラウザリンク					
配布パッケージおよびスクリプト	配布パッケージおよびスクリプト (amESDPackage)	すべて	すべて	このテーブルのレコードの参照と編集	配布パッケージおよびスクリプト [ 献 30]
配信方法	配信方法 (amESDMethod)	すべて	すべて	このテーブルのレコードの参照と編集	配信方法 [ 献 31]
スケジュールされたタスク	スケジュールされたタスク (amESDTask)	すべて	すべて	このテーブルのレコードの参照と編集	AssetCenterでのスケジュールされたタスクの作成 [ 献 33]
[ ポータルフォリオ ] メニュー					
コンピュータ	コンピュータ (amComputer)	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ スケジュールされたタスクのターゲット (ESComputer)</li> <li>■ ソフトウェア配布識別子 (SWDID)</li> </ul>	このテーブルのレコードの参照と編集	ターゲットコンピュータ [ 献 29]
[ ツール ] メニュー					



サブメニュー	メニューからアクセス可能なテーブル（ラベルとSQL名）	ソフトウェア配布モジュール専用のタブページ	重要なフィールドまたはリンク（専用タブページ外）	使用	参照する節
アクション / 編集	アクション（amAction）	配布	タイプ（seActionType）	このテーブルのレコードの参照と編集	アクションおよびウィザード [ 献 52]
アクション / < アクション名 >	該当なし	該当なし	該当なし	非コンテキストか、コンテキストがアクションタイプのアクションの提案 選択したアクションのトリガが可能	アクションおよびウィザード [ 献 52]
<b>[ 管理 ] メニュー</b>					
画面一覧	該当なし	該当なし	該当なし	メインメニューを使ってアクセスできないテーブルにアクセス可能 こうしたテーブルは通常、じかに変更する必要がないため、タスクは管理者に限定されています。	

## ツールバーアイコン

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合にはツールバーアイコンが使用できません。

## インタフェースオプション

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合にはインタフェースオプションが使用できません。

## テーブル

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合にリンクされているテーブルは次のとおりです。

表 B.2. テーブル - リスト

テーブルのラベル	テーブルのSQL名	テーブルへのアクセスに使用されるブラウザリンク	参照する節
AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に直接的にリンクされているテーブル			
配信方法	amESDDelivMethod	ポータル/IT/ソフトウェア配布/配信方法	配信方法 [ 献 31]
配布パッケージおよびスクリプト	amESDPackage	ポータル/IT/ソフトウェア配布/配布パッケージおよびスクリプト	配布パッケージおよびスクリプト [ 献 30]
スケジュールされたタスクのターゲット	amESDComputerTask	管理 / 画面一覧	AssetCenterでのスケジュールされたタスクの作成 [ 献 33]
スケジュールされたタスク	amESDTask	ポータル/IT/ソフトウェア配布/スケジュールされたタスク	AssetCenterでのスケジュールされたタスクの作成 [ 献 33]
AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に間接的にリンクされているテーブル			
アクション	amAction	ツール / アクション / 編集	
コンピュータ	amComputer	ポータル/IT/コンピュータ	ターゲットコンピュータ [ 献 29]

## テーブル間の依存関係

AssetCenterとソフトウェア配布ツールを統合するには、AssetCenterデータベースに複数のテーブルが必要です。これらのテーブル間にはリンクがあります。こうしたリンクの存在により、テーブルを特定の定義された順番で入力すると有効です。

以下に提案する順番は必須ではありません。AssetCenterでは、リンクされたテーブルに見つからなかったレコードを必要に応じて作成することができます。

レコードの作成順を最適化するテーブルがあります。テーブルには、どの依存関係テーブルに値を入力する必要があるかが示されています。

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に直接的にリンクされているセカンダリテーブルは除外してあります。これらのテーブルには、メインテーブルにレコードを作成したときに値が自動的に入力されます。

表 B.3. テーブルの依存関係 - テーブル

テーブル (ラベルとSQL名)	事前に入力するテーブル (ラベルとSQL名)
レポジトリ	
コンピュータ ( amComputer )	▶ マニュアル『ポートフォリオ』の「参照情報」の章、「テーブル間の依存関係 - 表」の節
配布パッケージおよびスクリプト ( amESDPackage )	
配信方法 ( amESDDelivMethod )	
タスクのスケジュール	
スケジュールされたタスク ( amESDTask )	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ コンピュータ ( amComputer )</li> <li>■ 配布パッケージおよびスクリプト ( amESDPackage )</li> <li>■ 配信方法 ( amESDDelivMethod )</li> </ul>

## リストデータ

特定のフィールドでは値を入力する際に、リストから値を選択することができます。こうしたリストをリストデータと呼びます。

リストデータテーブル ( amItemizedList ) には、[ 管理 / リストデータ ] メニューまたは [ 管理 / システム / リストデータ ] ブラウザリンクを使ってアクセスできます。

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合では、以下のリストデータを使用します。

表 B.4. リストデータ - リスト

このリストデータの識別子	リストデータから入力されるフィールド (ラベルとSQL名)	フィールドがあるテーブル (ラベルとSQL名)
amESDDelivType	タイプ ( DelivType )	配信方法 ( amESDDelivMethod )
amESDPackageType	タイプ ( PkgType )	配布パッケージおよびスクリプト ( amESDPackage )

リストデータの使用方法については、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「リストデータ」の章を参照してください。

---

## 特殊フィールド

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合では、特殊フィールドを使用しません。

---

## カウンタ

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合では、カウンタを使用しません。

---

## アクションおよびウィザード

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合では、一般的なタスクを自動化するためのアクションを使用します。

[ ツール / アクション / 編集 ] メニューまたは [ 管理 / アクション ] ブラウザリンクを使ってアクションテーブル ( **amAction** ) にアクセスできます。

[ ドメイン ] フィールドに単純フィルタを使用してソフトウェア配布モジュールにリンクされたアクションを簡単にフィルタできます。値「ポートフォリオ管理/IT/ソフトウェア配布/」を検索します。

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に直接的にリンクされたアクションと、本書で説明するアクションは以下のとおりです。

表 B.5. アクションおよびウィザード - リスト

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト ( テーブルのSQL名 )	参照する節
スケジュールされたタスクを転送	sysESDInstanceStart	スクリプト	( システムテーブル )	新しいスケジュールされたタスクのLANDesk Management Suiteへの転送 [ 献 34 ]

アクション名	アクションのSQL名	アクションのタイプ	アクションのコンテキスト(テーブルのSQL名)	参照する節
スケジュールされたタスクにターゲットを追加...	sysESDTaskAddComputer	ウィザード	(システムテーブル)	スケジュールされたタスクをウィザードなしで作成する [ 献 33]
パッケージ/スクリプトをコンピュータに配布...	sysESDGeneric	ウィザード	(テーブルなし)	コンピュータセットのスケジュールされたタスクを作成する(ウィザードを使用) [ 献 34]
パッケージ/スクリプトを場所に配布...	sysESDLocation	ウィザード	(テーブルなし)	選択した場所にあるコンピュータのスケジュールされたタスクを作成する(ウィザードを使用) [ 献 34]
パッケージ/スクリプトをユーザに配布...	sysESDServices	ウィザード	(テーブルなし)	所定ユーザのコンピュータのスケジュールされたタスクを作成する(ウィザードを使用) [ 献 34]

アクションの使用方法については、マニュアル『AssetCenterの高度な使い方』の「アクション」の章を参照してください。

スクリプトの作成方法については、マニュアル『管理』の「スクリプトの使用」の章を参照してください。

APIの使用方法については、マニュアル『プログラマーズリファレンス』を参照してください。

新しいアクションを作成するか、既存のアクションをカスタマイズできます。

---

## AssetCenter Serverモジュール

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に使用されるAssetCenter Serverのモジュールは以下のとおりです。

- Enterprise Discovery棚卸結果を使用してデータベースを更新 (EdAc)



**注意:**

このモジュールは、Enterprise Discoveryを使用してコンピュータのスキャンを行う場合にのみ使用されます。

---

- ソフトウェア配布のスケジュールされたタスクの作成 (SWDCTask)
- ソフトウェアパッケージと配信方法データベースの更新 (SWDRepo)
- ソフトウェア配布のスケジュールされたタスクの結果の更新 (SWDUTask)

これらのモジュールについては、マニュアル『管理』の「AssetCenter Server」の章の「AssetCenter Serverでモニタするモジュールを設定する」の節を参照してください。

---

## システムデータと専門分野データ

AssetCenterには標準データセットが付属しています。

これらのデータセットは、以下のグループのいずれかに含まれています。

- システムデータ：正しく機能するためにAssetCenterアプリケーションに必要なデータ
- 専門分野データ：自分の判断で本番データベースに挿入できるデータ  
このデータは機能グループに分かれています。
- サンプルデータ：AssetCenterに慣れるために有効なデータ

### AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に直接的にリンクされているシステムデータ

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に関係するシステムデータには、以下のテーブルからのデータが含まれます。

- 画像 (amImage)
- アクション (amAction)

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に固有のシステムデータは、AssetCenterと共にインストールされたデモ用データベースに自動的に含まれています。

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に固有のシステムデータは、本番データベースを作成したときにデータベースに自動的に含まれています。

### ソフトウェア配布モジュールに固有の専門分野データ

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に直接的にリンクされている専門分野データはありません。

---

## レポートと書式

AssetCenterには、AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に関連する書式やレポートは付属していません。

---

## API

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合には特定のAssetCenter APIがリンクされています。

ソフトウェア配布モジュールに関するAPIのリストと記述を取得するには、マニュアル『プログラマーズリファレンス』の「Index」、「Available functions - 'Software distribution' module」を参照してください。

---

## ビュー

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に専用のデフォルトビューはありません。

---

## その他のドキュメント

本書には、AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合に直接的にリンクされている情報のみが記載されています。

本書に記載されていない関連情報については、以下のドキュメントを参照してください。

表 B.6. その他のドキュメント - リスト

ドキュメント	記載されている関連情報	フォーマット	AssetCenterインストールフォルダの場所
インストール	■ AssetCenterのインストール	印刷版 オンライン	\doc\pdf\Installation*.pdf \doc\chm\install*.chm
ユーザインタフェース	■ アプリケーションの標準インタフェース	印刷版 オンライン	\doc\pdf\UserInterface*.pdf \doc\chm\userint*.chm
ポートフォリオ	■ コンピュータの管理	印刷版 オンライン	\doc\pdf\Portfolio*.pdf \doc\chm\portfol*.chm

ドキュメント	記載されている関連情報	フォーマット	AssetCenterインストールフォルダの場所
管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>リストデータの管理</li> <li>ウィザードの使用</li> <li>スクリプトの作成</li> <li>フィールドのカスタマイズ</li> <li>AssetCenter Serverの使用</li> </ul>	印刷版 オンライン	\doc\pdf\Administration*.pdf \doc\chm\admin*.chm
フィールドとリンクのヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースのフィールドとリンクの使用</li> </ul>	オンライン	このヘルプには、フィールドまたはリンクを選択後、以下の方法のいずれかを使ってアクセスできます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>右クリックして、ショートカットメニューから [フィールドのヘルプ] を選択する</li> <li>キーボードでShift+F1キーを使用する</li> <li>[ヘルプ/フィールドのヘルプ] メニューを選択する</li> </ul>
プログラマーズリファレンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>APIの使用</li> </ul>	印刷版 オンライン	\doc\pdf\ProgrammersReference*.pdf \doc\progref*.chm
Structure of the database (データベースの構造)	<ul style="list-style-type: none"> <li>データベースのテーブル、フィールド、リンク、インデックスのリスト</li> <li>AssetCenterによって自動的にトリガされるエージェンツ</li> </ul>	テキストファイル オンライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>\doc\infos\database.txt</li> <li>\doc\infos\tables.txt</li> </ul> \doc\chm\dbstruct*.chm
主要テーブル	<ul style="list-style-type: none"> <li>場所の管理</li> <li>従業員とサービスの管理</li> <li>任意管理項目の管理</li> <li>その他</li> </ul>	印刷版 オンライン	\doc\pdf\CommonTables*.pdf \doc\chm\common*.chm
AssetCenterの高度な使い方	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウィザードの使用</li> <li>特殊フィールドの使用</li> <li>リストデータの管理</li> <li>スクリプトの作成</li> </ul>	印刷版 オンライン	\doc\pdf\AdvancedUse*.pdf \doc\chm\advanced*.chm



ドキュメント	記載されている関連情報	フォーマット	AssetCenterインストールフォルダの場所
標準オンラインヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アプリケーション全体の操作</li> </ul>	オンライン	<p>オンラインヘルプにアクセスするには、以下のアクションのいずれかを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 F1を押す。</li> <li>2 ヘルプ/目次を選択する。</li> </ol>

## ワークフローチャート

AssetCenterとソフトウェア配布ツールの統合では、定義済みのワークフローチャートを使用しません。



# インデックス

- アイコン, 49
- アクション, 52
- インストール
  - AssetCenter, 25
  - Connect-It, 27
  - Enterprise Discovery, 27
  - LANDesk Management Suite, 27
- インタフェースオプション, 49
- インタフェース - オプション, 49
- ウィザード, 52
- カウンタ, 52
- コンピュータのインポート, 21, 18
- コンピュータのスキャン, 18
- システムデータ, 54
- すぐに転送 (ウィザードオプション), 34
- スクリプト
  - AssetCenterでのインポート, 22, 19
  - 作成, 21, 18
  - 参照する場所, 30
  - 参照する理由, 30
  - 参照方法, 31
  - 定義, 46
  - 配布, 33
- スケジュールされたタスク
  - AssetCenterでの作成, 33
  - ウィザードなし, 33
  - ウィザードの使用、コンピュータ用, 34
  - ウィザードの使用、ユーザ用, 34
  - ウィザードの使用、場所用, 34
  - LANDesk Management Suiteへの転送, 34
  - LANDesk Management Suiteへの転送のチェック, 35
  - LANDesk Management Suiteへの伝送, 22, 19
  - ステータスの更新, 22, 19
  - ステータスの自動的な更新, 36
  - 作成, 22, 19
  - 実行, 22, 19
  - 実行のチェック, 36
  - 定義, 46
  - ステータス (AssetCenterフィールド), 36
  - ソフトウェアパッケージと配信方法データベースの更新 (AssetCenter Serverモジュール), 31, 31
  - ソフトウェアパッケージまたはスクリプトの配布, 33
  - ソフトウェア配布で使用されるテーブル, 23
  - ソフトウェア配布のスケジュールされたタスクの結果の更新 (AssetCenterモジュール), 36

ソフトウェア配布のスケジュールされたタスクの作成 (AssetCenter Serverモジュール), 35, 35

ターゲットコンピュータ

AssetCenterでのインポート, 21, 18

LANDesk Management Suiteでの宣言, 21, 18

スキャン, 18

参照する場所, 29

参照する理由, 29

参照方法, 30

識別, 21, 18

ターゲットコンピュータの識別, 21, 18

タスクのステータス (AssetCenterフィールド), 36

タブページ, 47

ツール, 49

ツールバー, 49

テーブル, 50

テーブル間の依存関係, 50

パッケージ/スクリプトをコンピュータに配布 (アクション), 22, 19

パッケージ/スクリプトをユーザに配布 (アクション), 22, 19

パッケージ/スクリプトを場所に配布 (アクション), 22, 19

ビュー, 55

マニュアル, 55

メニュー, 47

リストデータ, 51

レポート, 54

ワークフロー, 57

ワークフローチャート, 57

参照, 29

書式, 54

専門分野データ, 54

転送ステータス (AssetCenterフィールド), 36, 35

転送ステータス (フィールド), 34

転送 (ボタン), 35

特殊フィールド, 52

配信方法

作成, 21, 18

参照する場所, 31

参照する理由, 31

参照方法, 31

定義, 45

配布パッケージ

AssetCenterでのインポート, 22, 19

作成, 21, 18

参照する場所, 30

参照する理由, 30

参照方法, 31

定義, 45

配布, 33

配布プロセス, 17

本番データベース, 26

## A

API, 55

AssetCenter

インストール, 25

モジュール, 26

ライセンス, 26

本番データベース, 26

AssetCenter Server, 53

設定, 28

AssetCenterモジュール, 26

AssetCenterライセンス, 26

## C

Connect-It, 21, 18

インストール, 27

Connect-Itシナリオ

設定, 27

## E

edac.scn (Connect-Itシナリオ), 30, 18

Enterprise Discovery, 18

インストール, 27

Enterprise Discovery棚卸結果を使用してデータベースを更新 (AssetCenter Serverモジュール), 30

## L

LANDesk Management Suite

インストール, 27, 27

エージェント, 21, 18

LANDesk Management Suiteエージェント, 21, 18  
ldskac.scn ( Connect-Itシナリオ ), 30  
LDStarTasks.scn ( Connect-Itシナリオ ), 35, 35, 34, 22, 19  
LDUpdateRepository.scn ( Connect-Itシナリオ ), 31, 31, 22, 19  
LDUpdateTask.scn ( Connect-Itシナリオ ), 36, 22, 19

